

令和4年10月13日

保険薬局 各位

一般社団法人 静岡市薬剤師会  
担当副会長 山本 勝 央

## 令和4年度第2回静岡県立こども病院と薬剤師会との打ち合わせ会報告書

開催日時 令和4年9月5日（月） 19:30～20:15

場 所 静岡市薬剤師会館 1階会議室

出席者 県立こども病院：青島薬剤室長、井原薬剤室長代理  
静岡市薬剤師会：山本副会長  
清水薬剤師会：柴田専務理事

### 1 こども病院から

#### ① 調剤過誤報告

- ・報告1件、トラブルなく事後の対処できている。

#### ② 疑義照会の内訳および院外処方せん発行率

- ・疑義照会率、院外処方せん発行率は大きな変化無し。
- ・報告事項無し。

#### ③ リフィル処方せんの応需状況について

・こども病院では、9月21日発行分からリフィル処方に対応した処方箋様式に変更する。応需状況をお伺いしたいのと、外用薬の扱いについて情報があればお教えいただきたい。

→現在までで、リフィル処方ほとんど発行されていない。従って問題事例も報告されておらず、今後情報が出てくると考えられる。

リフィル処方が有用に使える疾患は限られており、外用剤のうち軟膏は症状に応じて使用量が変わるので次回調剤日が決めにくいと考える。

投与制限のない外用薬はリフィル処方が可能。1回の使用量、1日の使用量、投与日数の記載(3回まで)が必要となる。また、過量になっていないことも大事となる。

・外用剤は分かりにくいですが、リフィルだから大量処方できるというわけではない旨、情報提供する必要がある。1回あたりの投薬期間および総投薬期間（リフィル可能回数）を記載するようにお願いする予定。

## 2 薬剤師会から

- ① 新型コロナウイルス感染症患者の増加によりアセトアミノフェン製剤、鎮咳薬等の需要が急増し、一部では供給困難となっている。こども病院では解熱鎮痛剤等を必要とする患者様へ継続して供給できるよう処方日数を減らす等対応をしているか。

また保険調剤薬局からの変更要望はあるか。

→アセトアミノフェン製剤については、処方制限していない。医師に対して供給状況を情報提供し、必要な患者様に必要量を処方いただきたい旨、依頼した。

小児に対しては配慮があるようで、現在のところ十分な院内在庫はないが欠品はしていない。院外処方については銘柄変更の希望はあるが、入手困難による変更希望はない。鎮咳薬については処方が少ないこともあり、大きな問題になっていないが、院外処方で入手困難により薬剤変更希望をいただいたことがある。

- ② 経腸栄養製品アダプタの JIS 規格品の出荷終了が 2022 年 11 月、こども病院の要望により対応してきたが切り替えのタイミングを教えてください。

→旧規格から新規格への切り替えについて、最終的な対応は今月末に決定する予定。決定したらお知らせする。

## 3 その他

審議事項なし

## 4 次回開催 令和5年2月6日(月) 19:30より市薬会議室にて